

令和7年度水戸市休日の地域クラブ実証事業等の検証について

1 実証事業の活動実績

(1) 実施種目及び対象校 (4種目：20部活動：12クラブ)

種目	移行スタイル	対象校	活動場所
軟式野球	合同活動型	飯富中・双葉台中・国田義務	飯富中
レスリング	一極活動型	全校	第四中
剣道	単独活動型	緑岡中、第四中、見川中 笠原中、千波中、内原中	各中学校
	合同活動型	第一中・第二中	第一中・第二中
		第五中・双葉台中・国田義務・飯富中 赤塚中・石川中	第五中 石川中
ソフトボール	拠点校型	赤塚中・見川中	見川中

(2) 実施期間等

- ・軟式野球、レスリング 令和7年5月～令和8年3月
 - ・剣道、ソフトボール 令和7年8月～令和8年3月
- 原則として土曜日（8：00～16：00）に実施、活動時間は原則3時間。

(3) 参加者

種目	指導者	参加生徒
軟式野球	5人	1年 9名、2年 14名、3年 6名 計 29名
レスリング	7人	1年 8名、2年 5名 計 13名
剣道	25人	1年 74名、2年 64名、3年 10名 計 148名
ソフトボール	5人	1年 5名、2年 4名 計 9名

2 令和7年度の成果

- (1) これまでの実証事業の成果を踏まえた「水戸市における休日の部活動等の在り方に関する方針」の策定
- (2) 指導者確保のための「水戸市地域クラブ指導者人材バンク」の設置
- (3) 教職員への呼びかけを含む広報活動等による約400名の人材バンク登録者確保
- (4) クラウドファンディング型ふるさと納税による寄附の募集（寄附額：約327万）
- (5) 地域クラブにおける連絡・調整、報償金の支払い、参加者負担金の徴収等について、業務委託を行うための「水戸市休日の地域クラブ運營業務委託プロポーザル」の実施
- (6) 体育館や武道場へのキーボックスの設置等による施設の使用方法の確立
- (7) 実証事業のノウハウを生かした「水戸市休日の地域クラブ事業実施要項」の策定

3 今後の取組における課題

- (1) 地域クラブの活動を持続可能なものにするための財源の確保
- (2) 中学校のすべての部活動を地域クラブへ移行するための指導者数の確保
- (3) 合同活動型として再編する地域クラブについて、中期的な参加者の推移の見極め
- (4) 保護者や学校、地域クラブの指導者への地域クラブ運営に関する制度周知
- (5) 文化部（吹奏楽部・合唱部）の地域クラブ移行に伴う、校舎内活動への対応
- (6) 各地域クラブの練習場所の割り振り、スケジュール管理
- (7) 地域クラブ内の連絡手段の確立

4 課題への対応方針

- (1) 国・県の補助金を活用するとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税などの寄附を呼びかけることで財源を確保する。
- (2) 水戸市休日の地域クラブ指導者人材バンクを活用し、指導を希望する教職員や部活動指導員をはじめ、各種競技団体の指導者や保護者、公務員などに登録を呼びかける。
- (3) 参加者数の推移等の情報を踏まえた上で、水戸市中学校体育連盟及び各学校と協議をしながら、地域クラブの編成を進めていく。
- (4) 保護者向けの資料配付や説明会の実施及び指導者向けの説明会・研修会の実施により、関係者の制度理解を深める。
- (5) 学校施設課等と連携し、校内のセキュリティ範囲の変更や学校との調整を図る。
- (6) 運営事務局として、各クラブの活動場所や活動計画を取りまとめ管理する体制を構築する。
- (7) 運營業務受託事業者と連携し、プライバシー等に配慮しながら、地域クラブ内の効果的な連絡手段を確立する。